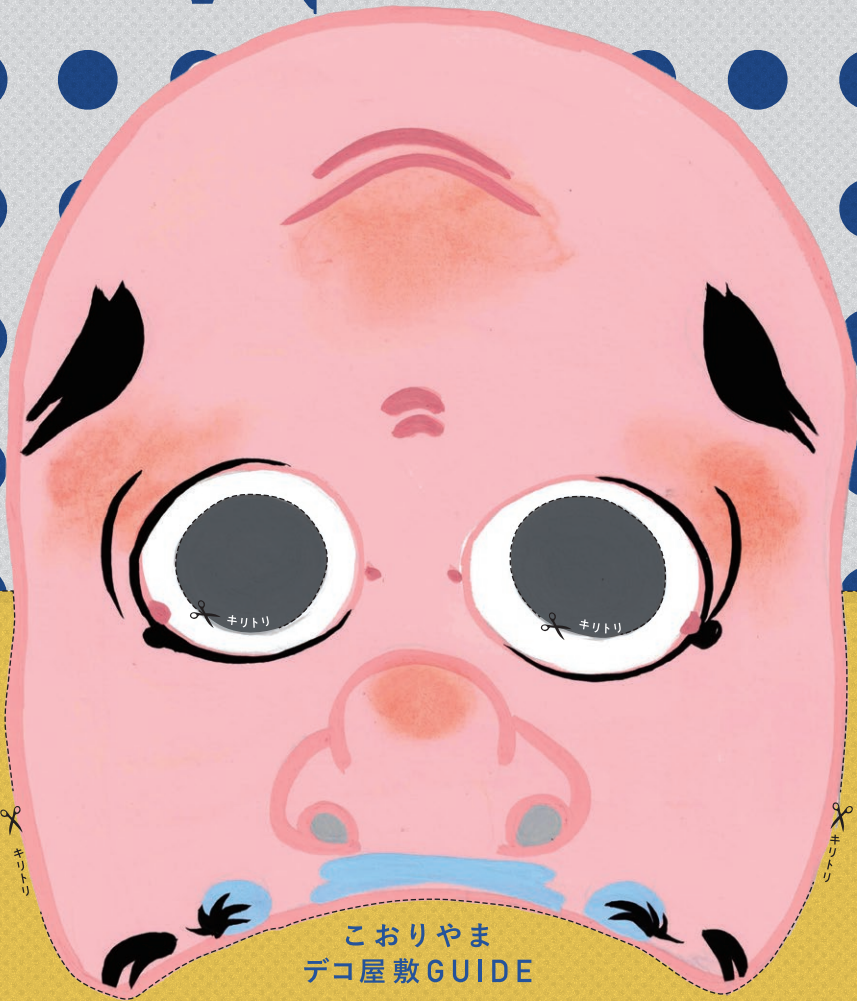


高柴デコ屋敷

張子の里



デコ屋敷への
アクセス

【車でお越しの方】

- 郡山駅から車で約25分
- 三春駅から車で約10分
- 郡山東I.C.から車で約5分

【電車でお越しの方】

- 郡山駅から磐越東線で三春駅まで約10分
三春駅からタクシー



高柴デコ屋敷観光協会
TEL.024-971-3907(事務局:おいち茶屋)
郡山市観光政策課
TEL.024-924-2621

問合せ



腰高トラ

ぐっと睨んだ目、勢よく伸びたヒゲ、高く張った腰と尾など、トラが威嚇する姿が表現されています。「千里行ってへ帰って来られるように」という気持ちのこもった張子です。また、男の子が強たく、まじい子に育って欲しいと願いを込めて、贈り物としても使われています。



高柴木馬(三春駒)

江戸時代、三春領が馬の産地だったことから「三春駒」の名がついた。日本三大駒の一つとして知られ、白がお年寄りのお守り、黒色が子どものお守りとして意味があります。



高柴ダルマ

高柴地区が発祥の張子の代表的格であるダルマ。頭が鮮やかな青色の顔の縁取りと、赤みを帯びた彫りの深い平らで、横幅に対し背の高い東北型。長めの眉に髭が濃く、顔つきが特徴。デコ屋敷のダルマは、八方睨みの魔除けダルマと言われ、両目が入り、八方に睨みをきかせ福を呼び、厄を寄せつけまいとされています。

高柴では江戸期の元禄時代から、木型(デコ)に和紙を張った人形を作っており、その職人の集落を昔から「デコ屋敷」と呼んでいます。高柴地区で作られる民芸品は、「高柴張子」「高柴(子育)木馬」と言い、三春藩の名残から「三春張子」、「三春駒」とも呼ばれています。

デコ屋敷とは



デコ屋敷の楽しみ方



高柴デコ屋敷には、伝統的な張子の木型が各工房に展示されており、デコ屋敷や工房の歴史や工程等を学ぶことができます。また、工房では日々、職人が製作を行い、その作業風景を見ることが出来ます。

見る

高柴デコ屋敷では、各工房それぞれの特色ある張子や販売しています。また、置物や被り面、それぞれに意味が込められており、その意味を工房で聞きながら、あなたのお気に入りの一品を見つけてみよう！

買う



郡山市には指定重要無形文化財「高柴七福神踊り」があります。工房でも踊ってくれます。職人さんにも飾るだけでなく、実際に被ることができるため、思いのままに、お面をつけて踊ってみよう！

被る／踊る



高柴デコ屋敷では、張子の製作体験ができる工房があります。あなただけのオリジナルの張子を作るのにおすすめです。

作る

